

木産協第55回定期総会開催

友愛と信義を伝統とする木産協活動を継承発展し、 木材産業の安定と働く者の生活向上・権利拡大を図ろう！

—業況の厳しさ踏まえつつも、各組織の活動強化確認—

木産協は、2012年9月8日、大阪市・「ホテル新大阪」で第55回定期総会を開催し、2013年度の運動方針を決定した。

総会は、奥野副議長の開会あいさつにはじまり、続いて、新潟合板振興支部長の塩谷代議員を総会議長に選出して進められた。

主催者を代表してあいさつに立った西本議長は「われわれの働く木材関連産業の状況を見れば、新設住宅着工戸数など、なお厳しい状況にある。そうした中で、この木産協に集う仲間が、各組織・職場間で、情報の共有化などをはかりながら、木産協の仲間同士が支援しあう取り組みとして具体的に何ができるかについて、さらに考えて具体化していきたい」と述べた。続いて、全国一般評議会を代表してあいさつに立った道協副議長は「木産協役員の方々におかれては、全国一般地方労組の役員としても頑張っていたことに感謝申し上げる。全国一般評議会の運動方針でも、業種別部会の活動について重視している。本総会において、活発な討論によって木産協の新年度の運動方針が確立されることを願う」と述べた。

その後、2012年度活動総括・同会計報告・同会計監査報告が提案され、質疑応答の後、拍手で承認された。続いて、2013年度運動方針(案)・同予算(案)が提案され、これを受けて、会場からは、「新設住宅着工戸数の低迷の原因は、住宅の長寿命化だけだろうか」、「民主党政権に対する失望感が広まっている今、木産協として政治に係る方針を記述することはできないのか」といった発言があった。これらに対して、執行部は、「『住宅の長寿命化が原因となって新設住宅着工戸数が低迷』というのは、あるシンクタンクが述べていたことだが、そのほかの要因として、少子・高齢社会化がいつそう進むであろうこと、あるいは、日本経済がなかなか上向かないこと、などを考慮して、ハウスメーカー各社も新設住宅着工戸数低迷予想をしているようだ」、「全国一般の一部会たる木産協が政治方針を掲げることは難しいが、自治労や全国一般の、中央・地方の諸会議で、木産協として言うべきことは言っていく」と述べた。この後、2013年度運





動方針(案)・同予算(案)は拍手で承認され、さらに、2013年度役員が選出され、退任する須藤幹事(天童木工労組委員長)ら退任・新任役員からあいさつを受けた。

また、各構成組織から、取り組みの報告があり、各組織ごとに、粘り強く闘った成果や、業績が好転しない職場の状況、非正規労働者増加の中で非正規組織化の推進がはかられている状況などが報告された。

総会の最後には、総会スローガンと総会宣言(案)を確認し、再任された西本議長が「木産協各組織ごとに、それぞれの業績の状況があり、それぞれの労使関係があろうが、経営側には経営側のやるべきことをしっかりやってもらうべく、組合は組合のやるべきことをしっかり行い、しっかりした労使関係を築き、後の世代に引き継いでいこう」と総会をまとめ、西本議長の音頭による団結ガンバロー三唱で総会は閉会した。

2013年度役員

役職	氏名	組織名	都道府県
議長	西本 範彦	永大産業労働組合山口支部	山口
副議長	奥野 正明	林ベニヤ支部舞鶴分会	京都
事務局長	川崎 晃	新潟合板振興支部	新潟
事務局次長	佐藤 一夫	中央本部	
幹事	柿崎 哲也	天童木工労働組合	山形
〃	高萩 喜一	小名浜合板労働組合	福島
〃	鈴木 一郎	大新合板支部	新潟
〃	竹中 洋	永大産業労働組合敦賀支部	福井
〃	井端 祥仁	パルテック労働組合	徳島
会計監査	中嶋 嘉久	天童木工労働組合	山形
〃	山口 道彦	林ベニヤ支部七尾分会	石川